

二川南小学校のESD活動

<活動の概要>

テーマ 「ぼくたち わたしたちのまち ふたなん ～地域で学び、地域とともに生きるみなみっ子～」

目標 地域に密着した学習を行う中で、人との関りやつながりを尊重できる子どもを育む

- 方 策
- ① 地域の環境を守り、地域に親しむ活動に取り組む。
 - ② 地域の歴史と文化にふれる活動に取り組む。
 - ③ 野菜づくりを通して地域を知る活動に取り組む。

活動の実際

「荒田池再生計画 ～プロジェクトA～」(5年生)

学校に隣接する荒田池や果樹園では、トンボなど池で生育している生き物を見つけたりして自然に親しむ活動を行っている。

また、池の魅力を高めるため、公園緑地化計画を行うなかで、開校当時の校区の方々の池にかけた願いを学ぶ。



「メイドイン二南をめしあがれ」(3年生)

「サニーレタスのふるさと二川南」(4年生)

校区の農業経営者を、ゲストティーチャーとして招いてキャベツづくりを学び、畑での生育にも取り組んでいる。また、二川南校区がサニーレタスの発祥の地であることを学び、サニーレタスの水耕栽培を体験している。



「つなぐ伝統 二川宿本陣まつり」(6年生、地域コミュニティー)

地域の歴史や文化を調べ、二川宿本陣資料館を見学することで、江戸時代から交通の要所として栄えた二川地区の歴史と伝統を学ぶ。

江戸時代の人々の生活を支えるとともに、日本の発展に重要な役割を担ってきた二川地区の歴史を知ることで、自分が住む町に対する誇りを高めていく。

秋を迎えたころには、「二川宿本陣まつり」の行列に参加する準備が始まる。「二川宿本陣まつり」を伝承する活動に取り組んでいる地域の方と出会い、奴踊りや手踊り、お囃子の練習に取り組む。

二川地区の大切な行事を伝承する校区の方々とのふれあいを通して、子どもたちは、郷土愛を育んでいく。

二川中学校に進学してからも、「二川宿本陣まつり」への参加は、継続して取り組んでいる。小学校から中学校へ「つなぐ」教育課程によって、伝統を「つなぐ」学習活動が具現化されている。

